

基本構想

第1章 下野市の目指す将来像

1. 前提となる指針

(1) 下野市自治基本条例(抜粋)

(自治の基本理念)

第4条 市民が主役のまちづくりを推進することを基本理念とする。

2 市民、議会及び市が協働によるまちづくりを推進することを基本理念とする。

(総合計画)

第20条 市長は、総合的かつ計画的に市政を運営するために、市の最上位計画である総合計画を市民参画の下に策定し、かつ、定められた範囲で見直しを行うものとする。

(2) 下野市民憲章

わたしたちの郷土 下野市は、姿川と田川が生んだ豊かな土壌と、水・ひかり・風のおだやかな自然環境に恵まれています。

先人達は、ここに美しい田園の景観や古い歴史と伝統をはぐくみ、継承してきました。

わたしたちは、このふるさとを愛し、薰り高い文化を育て、住みよい田園都市をめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし みどりあふれる美しいまちをつくります
- 1 いのちを尊び 心の通う明るいまちをつくります
- 1 みんなで学びあい 文化のかおるまちをつくります
- 1 働くことをよろこび 暮らし豊かなまちをつくります
- 1 力をあわせ 夢がひろがるたのしいまちをつくります

2. 目指す2つの方向性

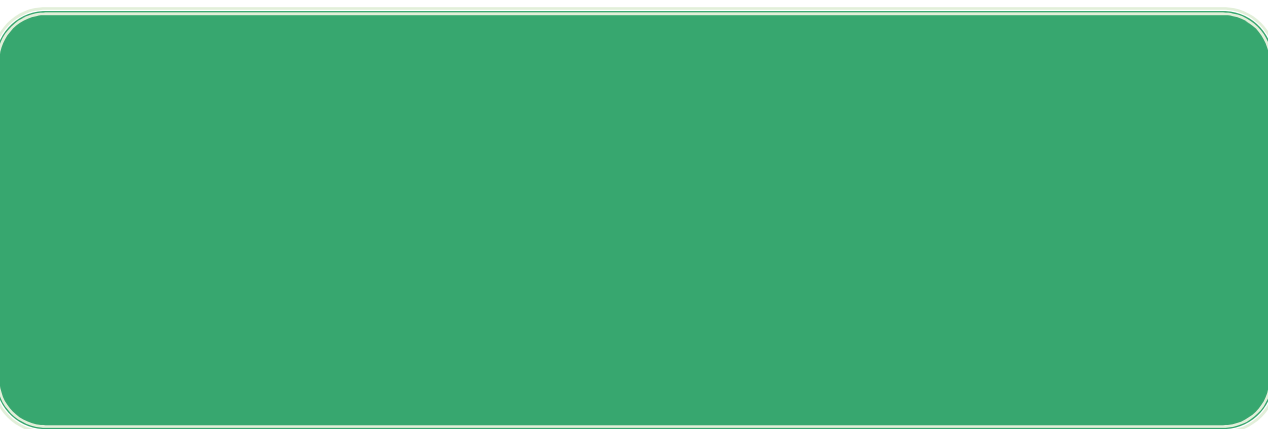
誰もが幸せを感じられるまち

一人ひとりが幸せを感じることで、周囲の人々にも幸せの輪が広がり、幸せの温かさが伝わるまちづくりを目指す。

暮らしたい、働きたいまち

地域の価値を高め、人や企業の移住・定住・誘致を促進し、地域の持続的な発展につなげるまちづくりを目指す。

【将来像】



若手職員ワークショップのアイディア	中学生ワークショップ (将来のまちのすがた)
歴史が薫る未来創造都市 ～ 自然と文化が息づく つながりあふれる下野市 ～	We're Happy Everyday ～ 元々の魅力を活かし新しい魅力をつくる 進化し続けるまち ～
過去から未来へつなぐ安心共生都市 ～ 住みよさ実感 選ばれる医療のまち しもつけ ～	自然と暮らしすべての人が楽しかったと 言える住みやすい町
最高のベッドタウン	市外から期待と思える豊かな自然と 特色のある便利なまち
治安であんしん 医療であんしん 環境であんしん 東の飛鳥をもう一度	

総合計画将来像（キャッチフレーズ）他市の例

自治体	策定年	将来像
宇都宮市	2018	輝く人の 和 つながるまちの 環 魅力と夢の 輪 うつのみや
足利市	2022	誇り高く 仁(ひと)を育み 挑戦し続けるまち足利 ～次代の子どもたちに、今の私たちがつなぐ未来～
栃木市	2023	豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市
佐野市	2018	水と緑にあふれる北関東のどまん中 支え合い、人と地域が輝く交流拠点都市
鹿沼市	2022	花と緑と清流のまち 笑顔あふれるやさしいまち
日光市	2016	feel so good !! 暮らして満足 訪ねて納得 自然と笑顔になれるまち
小山市	2021	「ひと」「まち」「暮らし」がいきいき 未来へつながる おやま
真岡市	2020	JUMP UPもおか ～だれもが”わくわく”するまち～
大田原市	2017	知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら
矢板市	2021	「未来へ」～みんなで創る新時代～
那須塩原市	2017	人 がつながり 新 しい 力 が湧きあがるまち 那須塩原
さくら市	2016	安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのまち
那須烏山市	2023	新たな未来への第一歩 市民が主役のまち 那須烏山市
上三川町	2016	共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川
壬生町	2021	子育て・健康・壬力がキラリ 幸せ実感 住みよい “壬生町”
野木町	2016	水と緑と人の和でうるおいのあるまち

下野市総合計画将来像（キャッチフレーズ）過去の例

	策定年	将来像
(第一次)	2008	思いやりと交流で創る 新生文化都市
第二次	2016	ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市 ～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～